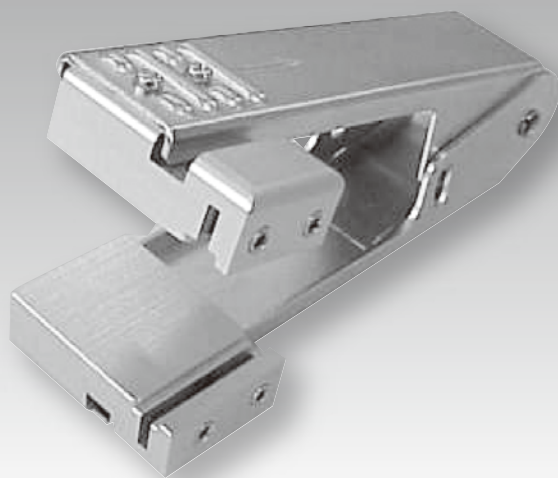


# 切り裂き溝作製工具

溝がないなら作ればいい!!



## 持ち運び便利な軽量・コンパクトな形状

### 用途

本製品は、セミ被害対策SM型IFドロップ光ファイバ「C」「R15」の外被に、切り裂き溝を長手方向に連続して作成するために使用する工具です。

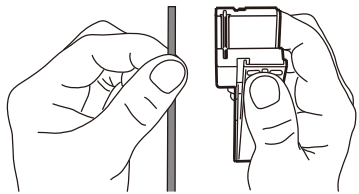
### 特長

1. ファイバ心線を傷つける事なく切り裂き溝を作製する事が可能です。
2. 刃は長時間ご使用頂く事を考慮し材質の選定・熱処理を施しております。
3. ケーブルガイドを設ける事で簡単にケーブル中央部に切り裂き溝を形成する事ができます。

### 仕様

品名	寸法(mm)	重量(g)
切り裂き溝作製工具	85×28×21	66

# 切り裂き溝作製工具取扱説明

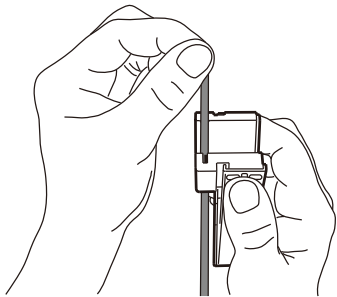


手順  
1

本品を右手に持ち、切り裂き溝を作製したいドロップ光ファイバを左手に持ちます。

**【確認事項】**

- あらかじめ弊社「支持線分離工具」等を利用し、支持線と分離して下さい。
- 本品を右手に持った場合、切り裂き部は左側に出っ張ります。
- ドロップ光ファイバの撚れは、事前に取り除いておいて下さい。

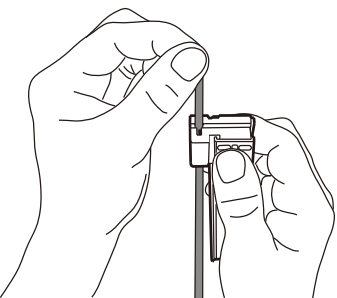


手順  
2

ドロップ光ファイバ外被の切り裂き溝作製開始箇所を、本品の下側金具の溝部に確実に乗せて下さい。

**【確認事項】**

- ドロップ光ファイバ外被が確実に下側金具の溝部に収まっているか？

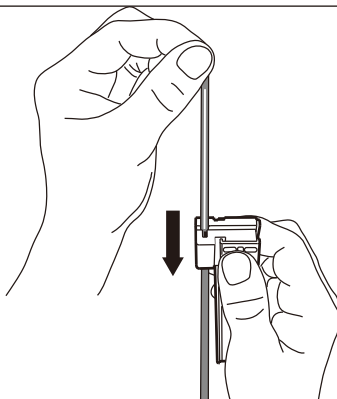


手順  
3

ドロップ光ファイバが下側金具の溝部に確実に乗った事を確認した後、フレームを握って下さい。  
(刃がドロップ光ファイバ外被に食い込みます。)

**【確認事項】**

- ドロップ光ファイバ外被が上下金具の溝部から、はみ出していないか？



手順  
4

**切り裂き溝作製作業**

上下フレームを握ったまま(刃がドロップ光ファイバ外被に食い込んだまま)左手でドロップ光ファイバを保持し、右手で本工具をまっすぐ手前に引いて下さい。

**【確認事項】**

- ドロップ光ファイバと平行にまっすぐ引いて下さい。

手順  
5

分離終了箇所まできたら本工具を開いて下さい。  
作業終了です。



住電ハイプレジション株式会社

www.shpc.co.jp

■お問い合わせは

東京事務所(営業部)

〒105-0004 東京都港区新橋6-19-19

TEL. 03-5401-0811 FAX. 03-5472-7677

E-Mail. eigyo1@shpc.co.jp